

参考資料

参考一 1 集約・複合化対象の公共施設の概要

交流・防災拠点施設の整備として、公共施設の集約・複合化の対象とする公共施設について、各施設の概要を示します。

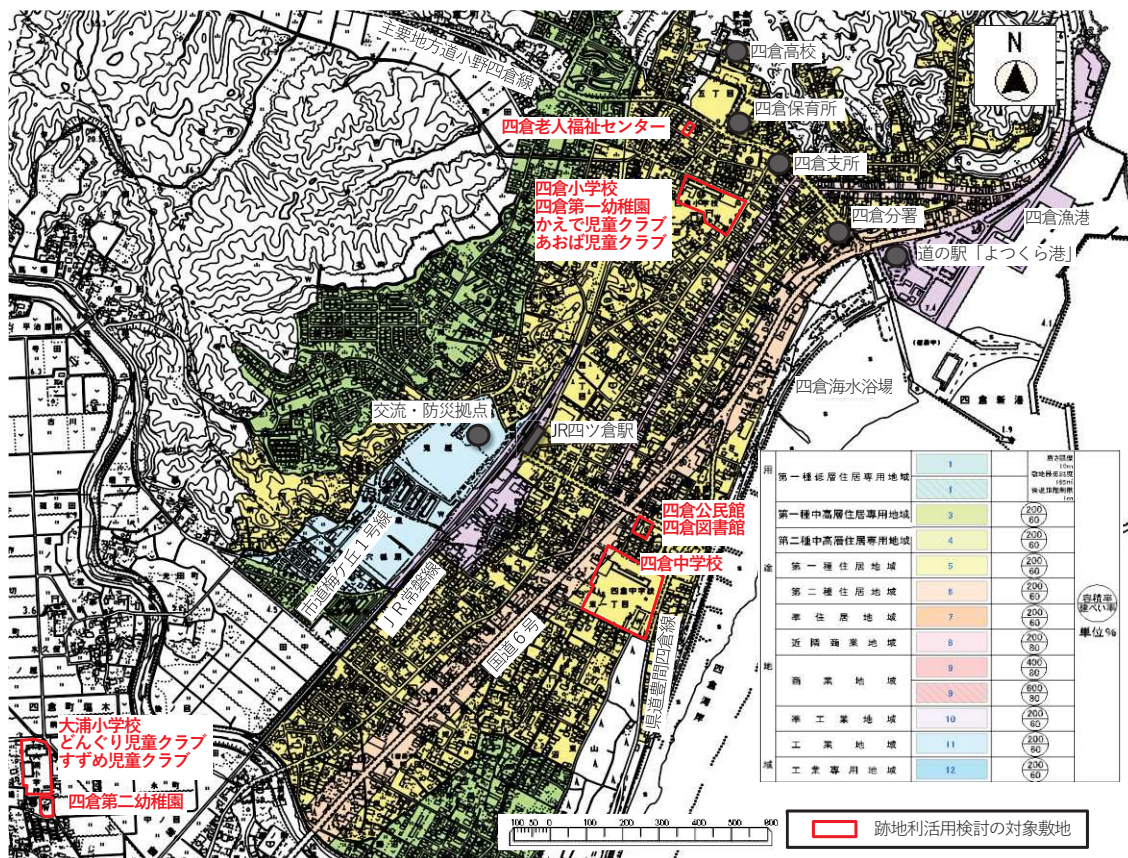


図 対象施設の位置

(1) 四倉中学校

所在地	四倉町字東一丁目 65				
敷地面積	32,529.00 m ²				
延床面積	7,350.96 m ²				
主要な建物	名称	構造・階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震性能
	校舎東(教室棟)	RC造・4階	1,024	1973	改修済
	校舎中央(管理教室棟)	RC造・4階	2,517	1974	改修済
	校舎西(教室棟)	RC造・4階	2,078	1975	改修済
	屋内運動場	S造・1階	1,085	1976	改修済
	銃剣道場	S造・1階	284	1977	改修済
土地建物の権利状況	いわき市所有				
都市計画等による制限	第一種住居地域、第二種住居地域				
災害リスク	洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域				

(2) 四倉小学校・四倉第一幼稚園・かえで児童クラブ・あおば児童クラブ

所在地	四倉町字西四丁目 3-3				
敷地面積	16,109.00 m ²				
延床面積	5,102.97 m ² (四倉小学校) 456.30 m ² (四倉第一幼稚園) ※四倉小学校校舎内併設 65.00 m ² (かえで児童クラブ) ※四倉小学校校舎内併設 73.00 m ² (あおば児童クラブ)				
主要な建物	名称	構造・階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震性能
	南校舎(管理教室棟)	RC造・2階	778	1964	改修済
	北校舎(教室棟)	RC造・3階	3,290	1964	改修済
	屋内運動場	S造・1階	828	2013	新耐震
	物置	木造・1階	32	1977	診断未了
	機械室	CB造・1階	14.04	1984	新耐震
	児童クラブ	S造・1階	73	2017	新耐震
土地建物の権利状況	いわき市所有				
都市計画等による制限	第一種住居地域				
災害リスク	洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域				

(3) 大浦小学校・どんぐり児童クラブ・すずめ児童クラブ

所在地	四倉町狐塚字松橋 27				
敷地面積	11,246.00 m ²				
延床面積	4,330.10 m ² (大浦小学校) 100.00 m ² (どんぐり児童クラブ・あおば児童クラブ)				
主要な建物	名称	構造・階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震性能
	校舎中央(教室棟)	RC造・3階	2,062	1989	新耐震
	校舎東・北(教室棟)	RC造・2階	1,254	1990	新耐震
	屋内運動場	S造・1階	828	2007	新耐震
	脱衣室	CB造・1階	56	1974	診断未了
	倉庫及び便所	木造・1階	40	1994	新耐震
	児童クラブ	S造・1階	100	2020	新耐震
土地建物の権利状況	いわき市所有				
都市計画等による制限	市街化調整区域				
災害リスク	洪水浸水想定区域				

(4) 四倉第二幼稚園

所在地	四倉町狐塚字松橋 65				
敷地面積	1,951.00 m ²				
延床面積	337.84 m ²				
主要な建物	名称	構造・階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震性能
	園舎	S造・1階	324.59	1999	新耐震
	物置	木造・1階	13.25	1999	新耐震
土地建物の権利状況	いわき市所有				
都市計画等による制限	市街化調整区域				
災害リスク	洪水浸水想定区域				

(5) 四倉図書館・四倉公民館

所在地	四倉町字東一丁目 50				
敷地面積	1,811.00 m ²				
延床面積	1,234.16 m ²				
主要な建物	名称	構造・階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震性能
	公民館	RC造・2階	1,074	1970	改修済
	図書館	RC造・1階	160.16	1982	新耐震
土地建物の権利状況	いわき市所有				
都市計画等による制限	第一種住居地域、第二種住居地域				
災害リスク	洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域				

(6) 四倉老人福祉センター

所在地	四倉町字西四丁目 108				
敷地面積	675.00 m ²				
延床面積	198.00 m ²				
主要な建物	名称	構造・階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震性能
	福祉センター	S造・1階	198	1982	新耐震
土地建物の権利状況	いわき市所有				
都市計画等による制限	第一種住居地域				
災害リスク	洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域				

参考—2 四倉地区交流・防災拠点施設の検討に関するアンケート調査結果

- (1) 調査の期間 令和5年7月18日から8月10日まで
- (2) 調査の対象 四倉小学校及び大浦小学校1・2年生の保護者
四倉第一幼稚園児及び四倉第二幼稚園児の保護者
- (3) 調査の方法 学校からの配布、任意の回答、郵送による回収
- (4) 回答数 46件
- (5) 調査の内容 四倉地区交流・防災拠点で、実現したいシーンは？
どのような活動、過ごし方、利用の仕方をしたいですか？
出来るといいなと思いますか？

別紙「アンケート調査票」

学校名 クラス 氏名

四倉地区交流・防災拠点で、実現したいシーンは？ どのような活動、過ごし方、利用の仕方をしたいですか？出来るといいなと思いますか？

<p>小学校・中学校の校舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、「ゆとりあるスペースで、多様な体験やものづくりができる」 ・ 例えば、「子供たちが、自然と集まる空間（スペースやベンチ、ソファなど）がある」 	<p>コミュニティ施設（公民館や図書館、音楽室、調理室など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、「音楽教室と連続した屋内外のステージ」 ・ 例えば、「調理する、食べるがワンフロアで出来る」 ・ 例えば、「おじいちゃんたちが、くつろいで将棋や囲碁を楽しんでいる」
<p>グラウンドや屋内体育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、「園児と小学生、中学生が楽しむ交流会が開催できる」 ・ 例えば、「災害時には、安心な避難所、福祉避難所として利用できる」 	<p>児童クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、「小学校校舎から、安全に移動ができる」 ・ 例えば、「多種多様な遊びと体験、学習ができる」
<p>幼稚園（小学生未満の施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、「敷地内を安全にお散歩できる」 ・ 例えば、「小中学校のお兄ちゃんやお姉ちゃんの活動を見ることができる」 	<p>その他（駐車場、広場、カフェ等の民間収益施設 など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、「お迎えの時間よりも少し前に、近くのカフェで仲間とおしゃべり」 ・ 例えば、「スクールバスも快適に乗り付けることができる駐車場」

①小学校・中学校の校舎

- 自然の温もりを大切にしたい校舎にしてほしい
- 近未来的な明るい雰囲気の建物。子供たちが誇れるような
- 木材など温かみのある自然素材を使った校舎（情操教育的にも）
- 四倉の良さがわかり地元で愛着が持てる
- バリアフリーLGBTQの人も受け入れられるような工夫がされている校舎
- 災害時に安全を確保できる校舎、校舎の上に太陽光パネルを設置
- 不審者の侵入対策等、防犯面で安心できる校舎
- 環境に配慮した校舎
- 馴染めない子、不登校や発達障害の子でも安心して過ごせる
- 窓ガラスに囲まれた景色の見える教室があるとよい
- 快適な教室、各教室ゆとりある広さと明るさ
- 区切られて落ち着いた教室
- 緩やかにつながった教室
- 小中学校は敷地は一緒でも別の校舎
- クラスの戸がなく学年で分かれている
- 外国語教育を楽しく学べる場所
- 鳥やメダカなどを育てる空間
- 生き物や植物を育てる体験ができる施設
- 子供たちが自由に行き来できる交流スペース
- 異年齢で関わることのできるフリースペースがあるとよい
- 多様な体験やものづくりができるゆとりあるスペース
- 廊下にベンチがあり、他クラスや他学年で交流できる
- 屋根付きベンチスペース
- 遊ぶところが少ない。休日は学校を開放してほしい
- 習熟度別の学級編成の導入
- 外国語教育を楽しく学べる場所
- 校舎から死角にならない目が届く遊具
- 国道の海側には公園が少ないので遊具の充実を
- 校庭の一部に芝生広場
- 行事の際保護者が利用できる駐車場
- 災害時に使えるヘリポート
- トイレは洋式で
- 衛生的なトイレ
- 男子トイレも個室で
- 男女のトイレの場所が両端に分かれている
- 空調（エアコン）を完備
- 給食運搬用エレベーター
- 鍵付きのロッカー
- 更衣室
- 上下に動かせる黒板

②コミュニティ施設（公民館や図書館、音楽室、調理室など）

- だれでも利用できる施設、くつろげる空間
- お祭りができたり地域の人が自由に行くことができる場所
- 児童と高齢者が触れ合う場所、ご老人に昔の遊びを教えてもらえる場所
- 子供の居場所、子育て世代が集まれるような施設
- 高齢者が安全に、健康に楽しく過ごせる
- 休日にイベントが行うことができる場所（学校の敷地内でのイベントなら参加しやすい）
- 赤ちゃんから利用できるコミュニティ広場を併設
- カフェが欲しい
- バリアフリーにしてほしい
- 防犯上、幼稚園や小中学校と公共の施設は完全に切り離してほしい
- 記入例のとおり
- 習い事の充実（新体操・習字・バドミントンなど）、退勤後の夕方から参加できるような教室
- 気軽に音楽や工作、料理を親子でできるような教室の開催
- 調理室が見える、ランチルーム等と一緒に食事をとれる
- 小さい子供でも安全に使える調理室、お年寄りや小中学生と一緒に料理できる調理室
- 日光が入る音楽室
- 地域住民が共用できる屋内外ステージ
- 防音設備の充実
- 利用者の作品を飾るギャラリー
- 送迎待ちや勉強ができる図書室
- 図書館の蔵書数を増やしてほしい、バリエーション豊富がいい
- 自習やデスクワークができる図書館
- 図書館は学生が利用しやすい場所にあるといい
- 広々とした図書館がほしい（座るところが多く、窮屈でないといい）
- 学校と町の図書館を一つに

③グラウンドや屋内体育施設

- ・ バリアフリーにしてほしい（グラウンド、体育館とも）
 - ・ 水はけのよいグラウンド
 - ・ ゆとりあるグラウンド、部活動をする際に小学生も外で遊べる十分な敷地の確保
 - ・ 行事の際に保護者の駐車場などとして使えるグラウンド
 - ・ 安全で機能的な遊具、年齢に見合った遊びができる、遊具が充実したグラウンド
 - ・ 日影がある校庭、木陰が欲しい
 - ・ 菜園にできる畑等の場所
 - ・ 四倉・大浦地区でスポーツ大会
 - ・ ソーラー式の街灯
 - ・ 記入例のとおり
- ・ 室内で思いきり運動できる体育館
 - ・ 多目的な活動ができる施設
 - ・ 防災拠点として充実した機能
 - ・ 津波の心配もない災害時の安全・安心な避難所（トイレやシャワー、収納スペース等もある）
 - ・ 備蓄保管所や防災用トイレ
 - ・ 災害時には、かまど等になるベンチの設置
 - ・ 災害時にも安心安全に利用できる空調完備した屋内体育館
 - ・ 熱中症対策をした体育館
- ・ テニスコート、プール、天候に左右されない屋内プール、温水プール（水泳教室にもなれば）
 - ・ テニスコートやバスケットなど休日にも子供たちが集い利用できる場所
 - ・ 体育館のほかに、地域クラブも利用できる道場（空手・剣道）
 - ・ 休日の無料開放も検討してほしい（開放の際はルールを徹底してほしい）

④児童クラブ

- ・ 小学校から安全に移動できる、小学校と通路でつながっている
 - ・ 悪天候時でも安全に校舎から移動できるようにしてほしい、移動していて気分が高揚する仕組みを
 - ・ 空き教室等を学童にすれば、新しい建物を建てる必要がない（土地も有効活用できるのでは）
 - ・ 記入例のとおり
- ・ 地域交流ができる、四倉の文化を体験できる、学校ではできない体験ができる、楽しく学べる工夫
 - ・ 自然の中で遊び学べる、農業体験ができる、野外活動が多いと嬉しい
 - ・ 英語学習ができる、小学校と連携した情報交換や活動
 - ・ 中学生になっても学習できる場所
- ・ 明るい部屋で寝転がれる全面カーペット
 - ・ ホットする空間、オープンスペースがほしい
 - ・ 室内でも体を動かせるホールがあるといい、専用の図書館や体育館やプール
 - ・ 駐車場が整備してあるといい
- ・ 子供たちが安全に利用できる、安全に過ごせる
 - ・ ID等で管理され、自動開閉できる門
 - ・ 駅の利用者からは見えないように
 - ・ 何かあったとき子供たちが避難できるように
- ・ 幼稚園の子どもも預けられるとよい
 - ・ 利用したい家庭が学年や定員で制限されないようにしてほしい
 - ・ 学年問わず何年生でも利用できるような部屋も欲しい
 - ・ 希望者全員が預けられるようにキャパを拡大してほしい
 - ・ 指導員の増員も要望
 - ・ 長期休みの際等に楽しく過ごせる
 - ・ 利用料が高い、定員が少ない

⑤幼稚園（小学生未満の施設）

- 緑が多く、四季を感じられる、芝生の園庭、ビオトープ、子供が外で思い切り遊べるスペース
- 屋根等の暑さ対策がされているグラウンド
- 安心して遊べる遊具、安全にのびのび過ごせる施設、園児が安心して使えるステージ（お遊戯室）
- 送迎時に雨具を着脱できるスペース
- 活動が制限されないのびのびとした安全な施設を（校舎内では限界があると思う）
- 広い駐車場
- 泉にある「もえぎ保育園」のようなものが理想
- 休日の園庭開放
- 記入例のとおり

- 車道と歩道は分けてほしい
- 門扉等のセキュリティ強化、安全に学べる空間、防犯対策がしっかりした保育施設
- オープンすぎると不安、地域の人目が届くような閉鎖されていない環境、不審者等への防犯対策
- 小中学生と一緒にすることでケガをしないように、活動を見るフロアがあるといい

- 年長さんは就学に向け小学校で実際に授業を受ける、小学生になるイメージができるといい
- 小中学校に行き来でき、活動を見られるといい、幼児や小中学生が触れ合える機会
- 小学校と一緒に給食を提供
- 習い事の充実、共用スペースで生き物を飼育

- 幼稚園ではなく保育所やこども園にしてほしい（市立）、0から2歳児も利用できる施設がいい
- 短時間でも預かってほしい、子どもの体調不良時や保護者が仕事を休めない場合でも預かってくれる施設が欲しい
- 園児が存分に遊べる場を作ってほしい（近隣住民の理解や協力が必要不可欠）

⑥その他（駐車場、広場、カフェ等の民間収益施設など）

- 広い駐車場、舗装され区画割りされた駐車場、停めやすい駐車場
- 送迎時、迎えを待つ人が安全に待てるスペース
- 屋根付きの自転車置き場、屋根付きの送迎スペース
- 敷地への立ち入りは登録制、色々な人が集いながらも防犯対策は重要
- 小学校までが遠いのでスクールバス
- 記入例のとおり

- 子供が安全に歩行できる歩道の整備
- 渋滞緩和のための車道整備、子供をスムーズに送迎できる道路
- 駅に来る車と小中学の送迎の車の動線は分けてほしい
- 自転車に乗れる安全なコース

- 夏場に水遊びできる公園が欲しい、遊具の多い広場、駅前公園が欲しい
- 植物や遊具が充実した公園、共同で使える畑
- 夏休みのラジオ体操の実施
- 勉強等を自由にできる無料のスペース、屋内のキッズスペース
- 近くに公園が少ない（駅の裏側ではなく線路を渡らずに行ける場所に公園があったらうれしい）

- カフェ、パン屋、駄菓子屋、買い物できる施設、軽食コーナー
- カラオケ、ファーストフード店、ショッピングモール
- ジム
- 学用品を購入できる売店
- 学校帰りに行ける塾や習い事の教室
- 子ども食堂の機能を備えたカフェや食堂（小中学生の職業体験の場にもなると思う）
- たまり場になるような施設は不要
- 保護者同士が交流できる空間、USBをつなぎゆっくりできるような場所
- 施設はアクセスしやすく開放的な雰囲気

参考一 3 四倉地区の市街地再生に向けたアイデア募集結果

市では、令和5年12月20日から令和6年1月18日にかけて、四倉地区市街地再生整備基本計画の検討状況を広くお知らせすることに併せ、市街地再生の取組みのアイデアを募集しました。

現在の検討状況のお知らせとアイデア募集を行います!!

四倉地区の市街地再生に向けて

□ 本市では、四倉地区の現状と課題や激甚化・頻発化する自然災害への対応などを踏まえ、市街地再生への今後の取り組みの方向性を示す**基本方針を令和3年5月に策定**しました。

□ 現在は、基本方針に掲げた取組みについて、地域の各種団体等の方々と市関係部署の職員で構成したワーキンググループにおいて、具体的な検討を進めているところです。

□ この度、現在の検討状況について、皆様へお知らせするとともに**地域が元気になると思うアイデアを募集**します。

本市北部の拠点である四倉地区の駅周辺においては、空き地などの低未利用地や空き店舗も目立ち、まちの活力が低下している状況です。

また、地区内の小・中学校や公民館などは老朽化の進行に加え、津波及び洪水の浸水想定区域に立地しており、公共施設のあり方の検討も必要となっています。

四倉地区の…
現状と課題

現状				
課題	住民の暮らしや生活を支える拠点の形成	将来を見越えた公共施設の集約・再編	商店街の賑わい再生	安全な道路空間の整備

地域の方々の安全・安心な暮らしや、利便性の高い生活に寄与する拠点機能の創出に向けた、交流・防災拠点施設の整備などのハード整備のほか、にぎわいづくりに寄与するソフト事業の展開により、市街地の再生を目指すこととしました。

方針の策定

令和3年5月 四倉地区市街地再生整備基本方針を策定

方針1
教育・文化・福祉機能を有する交流・防災拠点の整備

- 交流・防災拠点の整備(公民館等の集約・複合化)
- 民間事業者のノウハウを活かした多世代交流の促進

方針2
民間活力の導入によるにぎわい拠点の形成

- 民間施設(商業施設等)の誘導
- 公共施設の集約・複合化後の跡地活用

方針3
商店街のにぎわい再生

- 空き店舗を活用した新規出店サポート
- 空き地帯を活用したにぎわい拠点の創出

方針4
安全な道路空間の整備

- 交通安全対策等の実施(歩道整備、カラー舗装等)

基本方針の目標

安全・安心で利便性の高い拠点機能の創出による市街地の再生
～教育・文化・福祉機能の集積と市街地におけるにぎわいづくり～

検討の状況

地区が抱えている課題へ対応するため、現在は、令和3年5月に策定した四倉地区市街地再生整備基本方針に掲げた取組みについて、地域の各種団体等の方々と市関係部署の職員とで構成するワーキンググループを設置し、具体的な検討を進めているところです。

他の取り組みも含めた検討状況は市HPへ!!

※四倉地区はHP下部に掲載

アイデアの募集

方針1 教育・文化・福祉機能を有する交流・防災拠点の整備

【メインテーマ】 みんなの「学び」と「ふれあい」の場づくり～つなげよう未来へ～

【コンセプト】

【整備予定地】

【導入機能】

施設	内容
学校施設(小中学校)	● 児童・生徒が成長する場 ● 児童・生徒の成長を支える場 ● その地域交流の場
幼稚園施設(毎年の保育機能付加を見据えて検討)	● 幼児が成長する場 ● 幼児の成長を支える場
体育施設(地域への開放を検討)	● スポーツ活動の場 ● 文化・交流の場
コミュニティ施設(公民館、図書館、特別教室、児童クラブ)	● 生涯学習の場 ● 若い・文化・交流(地域振興)の場 ● 健康づくりの場
● 高齢者福祉センターの集会所機能を含む	● 図書・資料の収集、貸出、展示 ● 地域資料の収集・提供・展示 ● 保育に必要な児童を健全に育成する場 ● 労働等により保護者が民間施設にいない家庭を支える場 ● 供用部・共用スペース
広場・緑道など	● 憩い、潤い・活動の場
駐車場	● 交流・防災拠点利用者の駐車場

【検討のポイント】

- ※当該地区に限らず、過去に建設された公共施設等の更新時期が一斉に迫ってきています。また、人口減少も進み、財政は厳しい状況が推測され、今後の施設を同じように維持し続けるということはできません。
- ※施設という形で維持すべきサービス・機能については、財政健全化の視点とサービス・機能の強化の視点をもって、集約・複合化を行うことが大切です。

● 災害リスクのある区域に立地し老朽化の進む公共施設(四倉小中学校、大浦小学校、四倉第一・第二幼稚園、児童クラブ、四倉公民館・図書館、四倉老人福祉センターの機能)を、災害リスクの低い四ツ倉駅西側の工場跡地に集約・複合化することによる、安全・安心な**交流・防災拠点施設**の整備について検討しています。

● 新しい機能・適正規模で再編するとともに、施設間の連携、多様な世代との交流による豊かな学びの得られる地域の拠点を形成します。

四倉地区の市街地再生に向けて、皆様のアイデアをお聞かせください! (募集期限: 令和6年1月18日まで)

検討の参考とするため、方針1「交流・防災拠点の整備」、方針2「民間活力の導入によるにぎわい拠点の形成」、方針3「商店街のにぎわい再生」、方針4「安全な道路空間の整備」に関連し、**地域が元気になると思う皆様のアイデアをお聞かせください。**

任意様式に、「住所」「氏名」「連絡先」「地域が元気になると思うアイデア」を記載のうえ、回収ボックスへの投函、又はメール・ファックス等による下記連絡先への提出をお願いします。

※回答ボックス設置場所 四倉支所、公民館(四倉、大野、大浦)、本庁都市計画課、道の駅よつくり港(情報館、交流館)

連絡先: いわき市役所 都市計画課 都市再生係 Tel: 0246-22-7513 fax: 0246-24-4306 メール: toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp

図 お知らせのポスター

65

頂いたご意見は、取組みのアイデアとして本計画書に記載するとともに、今後の参考とさせていただきます。

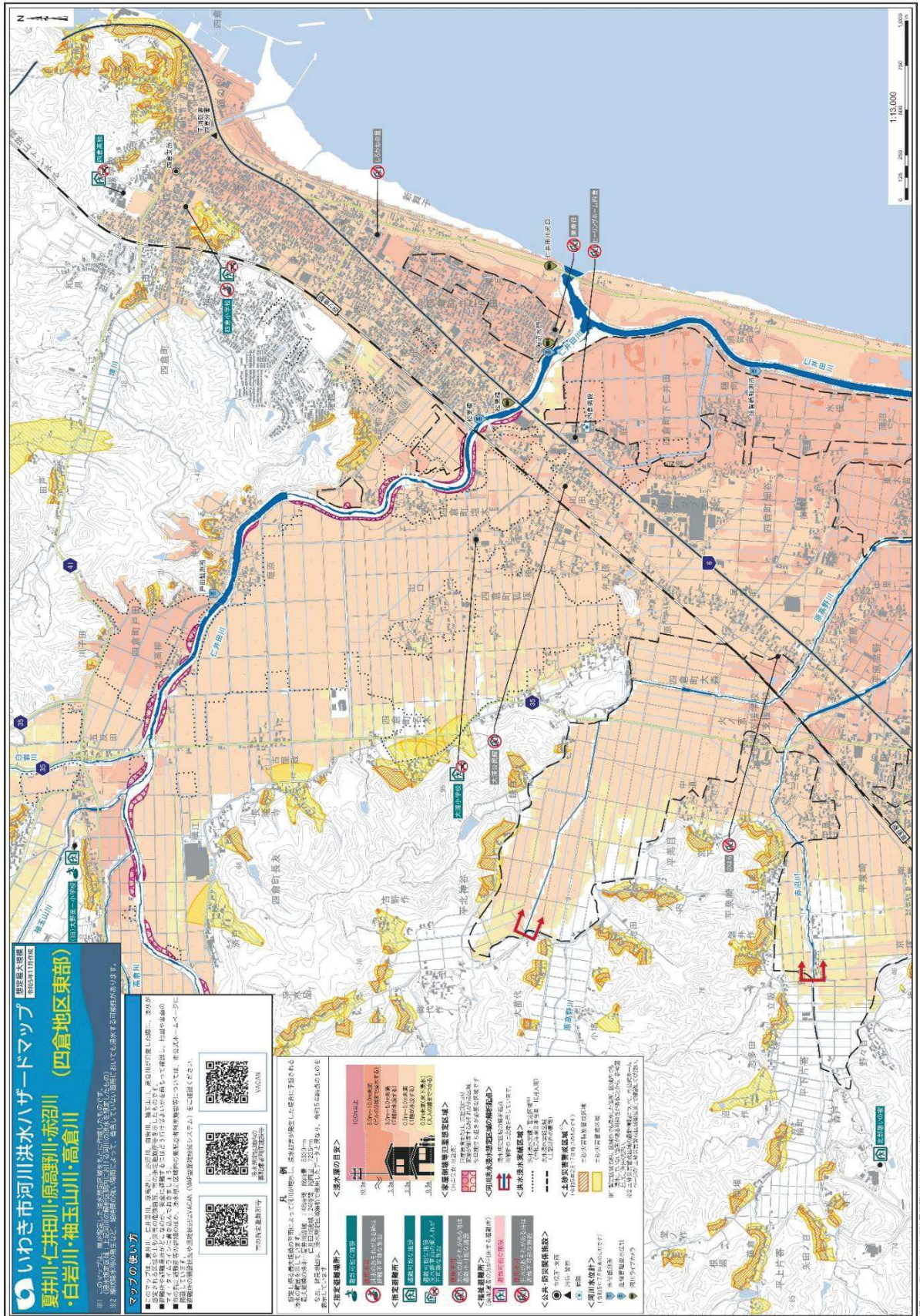
表 提出された意見の概要

No	意見された方	ご意見（抜粋）
1	市外在住・女性	<ul style="list-style-type: none"> • 四倉の地の利を活かす。 • 海沿いをサイクリングできるように道路、歩道を整備する。 • 蟹洗温泉に海が臨めるサウナやインスタ映えする休憩所を設け、館内にグランピング施設を併設するなど、若い世代にも来てもらえる温泉施設にリニューアルする。 • 空き店舗は格安の賃料で若い経営者へ貸し出す。
2	市外在住・男性	<ul style="list-style-type: none"> • 人口増加のため、市や地区で空き家を一時的な借家として運用する。 • 体験型アクティビティ施設を建設する。 • 四倉高校跡地を総合スポーツ施設として再利用する。 • 四倉港で釣りができるように生簀を設置し、釣り堀として運用する。 • 週末には「週末文化祭」ということで屋台村のようなスペースを設け、市内の学生が主体となって軽食類、文化部の展示物、吹奏楽部のコンサートを開催する。
3	市内在住・男性	<ul style="list-style-type: none"> • 線路をまたぐ自動車道路を建設する。
4	市内在住・女性	<ul style="list-style-type: none"> • 若い人たちが子育てしやすい環境や高齢者と各世代が交流共存できるまちづくりの一環として、小児科とファミリーレストランを誘致する。（宮城県閑上の「かわまちてらす閑上」のような施設も良いと思う。） • 廃校になった大野小は四倉インターから近いという地の利を生かし、首都圏の劇団やプロダクション、スポーツチームに練習場や合宿所として利用してもらえるようにする。
5	市内在住・男性	<ul style="list-style-type: none"> • 茨城県五霞町の道の駅ごかにあるスポーツパーク GOKA のように、調整池を活用したスポーツ施設を計画する。
6	市内在住・男性	<ul style="list-style-type: none"> • 四倉支所、四倉分署は次の理由から集約検討に含めて欲しいです。 <p>①四倉支所は駐車場が少なく、築年数も 40 年を超えることが想定される。</p> <p>②現所在地でなければいけない理由がなければ、施設集約の観点から対象とすべき。</p> <p>③東日本大震災で機能しなかった問題を解決するため。</p>

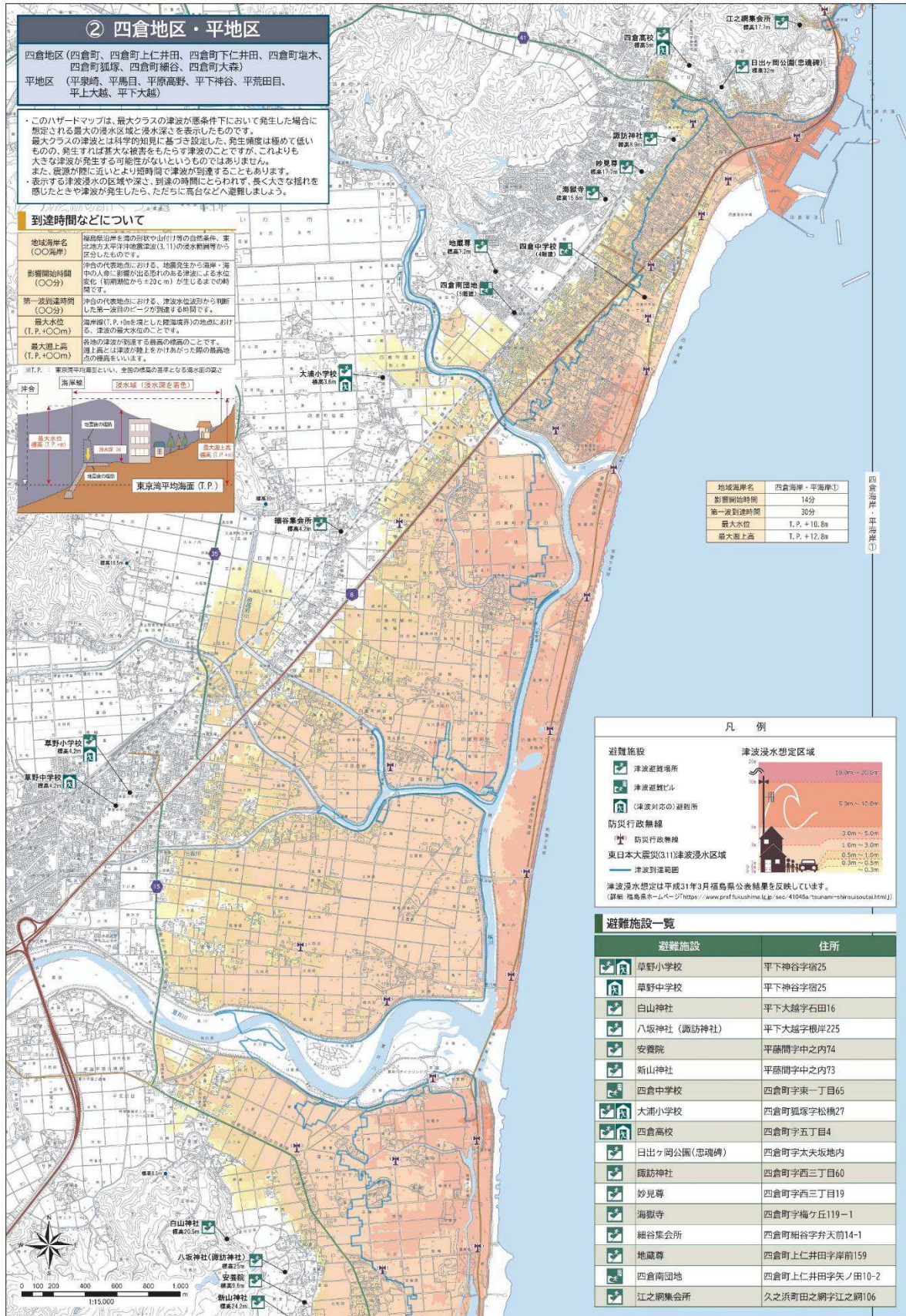
表 提出された意見の概要（続き）

7	市外在住・男性	<ul style="list-style-type: none"> 常磐線東側市街地から西側避難先への複数のアクセス道路を整備する。 大津波時の徒歩避難経路を整備する。 商店街の賑わいづくりはテーマを絞りながら、関心のある外部の起業家等を加えたワークショップを実施する。 境川を暗渠化した通りなどは、昭和20年代後半まで実施されていた「火打ち合い（火祭り）」の舞台となっていたので、このような歴史を地域の通りのネーミングに活かす。
8	匿名	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の柱の寄せ書きには元気をもらおう。 四倉海岸が一望できないのがちょっと寂しいです。 四倉町内あちこちに犬のフンが散乱しているのでどうかしてほしいです。
9	市外在住・女性	<ul style="list-style-type: none"> 四倉が力を入れている物を全面的にアピールする。例えば、派手な看板の設置やラッピングバス・ラッピングタクシーを導入する。
10	匿名	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の安全が第一なので、町内の道路や歩道の充実化が先と思っています。 工場跡地には武道館を誘致して頂きたいです。
11	市内在住・女性	<ul style="list-style-type: none"> 四倉町にあったらいいなと思うお店などを考えてみました。 ①ハンドメイドの作品を委託販売してくれるお店やレンタルBOXのお店、カフェ、食堂、テイクアウトのお店（お弁当屋さん） ②諏訪神社様で開催されているようなマルシェイベントを開催する。 ③地域の方や高齢者の方と触れ合うことが出来るイベントや食堂がある。 ④お店を開きたい人に空き家を格安で貸す。
12	市内在住	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の居場所確保と学習機会の拡大、高校生ボランティア意識育成と人間性醸成のため、小学生に対し高校生が様々なジャンルの勉強等を教える場所を確保する。
13	市内在住	<ul style="list-style-type: none"> 四倉住民が先頭に立って行動し、市街地再生による行政、教育機関、民間事業者等連携により、文化芸術関係や人材の地域資源活用に意を用いながら、「芸術のまち四倉」を確立させていく。
14	市内在住	<ul style="list-style-type: none"> 祭りに対する意識向上を図るため、四倉町在住者を対象に「四倉ねぶた」の新名称を募集する。 燈籠の内容は四倉に伝わる伝説や神話、海をイメージできるものにしてはどうか？

参考—4 河川洪水ハザードマップ



参考—5 津波ハザードマップ



四倉地区市街地再生備整基本計画 策定／令和6年4月 いわき市都市建設部都市計画課 〒970-8686 いわき市平字梅本21番地 TEL 0246-22-1111 (代表)